

第3回東方経済フォーラム 日ロビジネスラウンドテーブル プログラム

(2017年9月1日時点)

| | |
|--|--|
| <p>9月7日(木) 9:00-10:30</p> <p>会場: B棟 レベル 5 ホール3 (ホール「モ ルスコイ」)</p> <p>言語: 日本語及び ロシア語(同 時通訳)</p> <p>参加者数: 日ロ合わせ て400名程度</p> | <p>「ロシア極東における日ロ協力の多様化」</p> <p>2016年5月に安倍総理大臣からプーチン大統領に対して「8項目の協カプラン」が提案され、同年12月のプーチン大統領訪日までに日ロ間で約100の合意文書が結ばれた。今後の日ロ間の課題はこれらの合意文書を如何に実際のビジネスとして実現していくかにある。日本と近接するロシア極東地域での協カプロジェクトの実現は日ロ双方の共通の利益であり、その強化・拡大が期待されている。従来、ロシア極東での日ロ協力は石油・天然ガスといったエネルギー資源分野に限られてきたが、近年、ロシア政府による新型経済特区(TOR)やウラジオストク自由港などロシア極東への投資誘致に向けた諸制度の整備にともない、同地域での日ロ協力は農業、医療、自動車、再生可能エネルギーなど多様性をみせつつある。今回の日ロラウンドテーブルでは、ロシア極東における日ロ協力のさらなる多様化の実現に向けて、日ロ双方の代表が意見交換を行う。</p> <p>主催: (一社)ロシアNIS貿易会 露日ビジネスカウンシル/実業ロシア</p> <p>モデレーター: 日本側: 村山 滋 ロシア NIS 貿易会会長/川崎重工業 取締役会長 ロシア側: A. レピク 露日ビジネスカウンシル議長/実業ロシア会長</p> <p>発言者: 日本側:(氏名 50 音順) 1)朝田 照男 日本経済団体連合会 日本ロシア経済委員会 委員長 /丸紅 取締役会長 2)飯島 彰己 三井物産 代表取締役会長 3)佐藤 雅之 日揮 代表取締役会長 4)佐々木 稔之 伸和ホールディングス 代表取締役社長 5)高橋 はるみ 北海道知事 6)前田 匡史 国際協力銀行 代表取締役副総裁</p> <p>ロシア側:(政府・民間の順で氏名アルファベット順) 1)A.ガルシカ 極東発展大臣 2)M.オレシキン 経済発展大臣 3)O.ペロジョロフ ロシア鉄道社長 4)O.ブダルギン ロスセーチ社長 5)A.リハチョフ ロスアトム総裁 6)L.ペトウホフ 極東投資誘致・輸出促進エージェンシー総裁 7)N.ポドグゾフ ロシア郵便 総裁</p> |
|--|--|

締めくり発言(コメント等発言、氏名 50 音順)

(日本側)

尾身 幸次 STS フォーラム理事長

片山 さつき 参議院議員/ 自民党政務調査会長代理

(ロシア側、氏名アルファベット順) *現時点での露側提供情報に基づく
S.ゴリコフ 開発・対外経済活動銀行(VEB: ヴネシュエコノミバンク)頭取
他、調整中。

(了)